

革新懇の三つの共同目標

- ①経済を国民本位に転換し、暮らしが豊かになる日本をめざします。
- ②憲法を生かし、自由と人権、民主主義が発展する日本をめざします。
- ③日米安保条約をなくし、非同盟・中立の平和な日本をめざします。

鳥取県革新懇ニュース

No. 76

2022年

7・8月合併号

〒680-0833 鳥取市末広温泉町211誠ビル3階(鳥取県労連気付)
TEL0857-21-3171 FAX0857-21-3172

人のこころに平和の火を灯し、いのちの大切さを伝えていきたい



本堂で保存されている平和の灯「こころ」

広島・長崎への原爆投下から77年。原爆の残り火が保存されている湯梨浜町松崎の法林寺を訪ね、ご住職の上杉宣章さんと保存を働きかけられた倉吉市の秋山結花里さんにお話を伺いました。(聞き手 田中暁、山根善政)

●原爆の火が分灯されたい
ききつについてお聞かせください

秋山：この火を持って全国を回られていた神戸元氣村代表の山田和尚さんという方の友人から、鳥取県でどこか分灯して保存して下さいと頼を受け、倉吉市内の神社やお寺などに問い合わせをしたのですが、どこも受け入れて下さるところがなく、私の実家が法林寺さんの檀家だったもので、こちらにお聞きしたら即答で引き受けて下さることになり、鳥取県庁でこの火の分灯式を行いました。

●県内で保存されているのは法林寺さんだけですか

上杉：そうですね、鳥取県ではここだけです。鳥根県は安来の清水寺にあります。神戸大震災の直後、埼玉

から山田和尚という方が神戸に連れて来て、神戸元氣村というボランティアグループを作ったボランティア活動をされていた。その後、

東海の大震災とか鳥取にも西部地震のボランティアに来られました。こうしたボランティアで全国を回られていたときに、原爆の火のことを知ることになり、「戦争を起こすのも、平和を願うのも人間のこころ次第なのだから」ということで、山田和尚さんはこの原爆の残り火に平和の灯「こころ」と名付けられました。この「こころ」が21世紀に平和のこころを広げていくようにと、これが山田和尚さんがおっしゃった言葉です。その火が2000年の11月24日に届きました。鳥取県庁でお会いしました。山田和尚さんは自転車に乗って、全国を回って

提灯に火をつけて県庁においでになりました。火が消えないように懐炉で持つて回っておられるとのことでした。そしてこの火は孫保存が出来ないということで、山田和尚さんは長野県の神宮寺で分灯を受け、全国を回られていたということでした。

その後、ここに原爆の火が保存されて

いるということ伊谷周一さんがおいでになって、子ども達にこの灯の前でお話をされたり、池原正雄さんにも講演していただいたりしました。(他県では)原爆の火は、寺や神社にかかわらず、個人や自治体でも保存されているそうです。

また、毎年、松崎こども園が年長の園児たちを連れて平和学習に来られます。絵本を読んだりしながら、原爆の恐ろしさ、戦うってこういう恐ろしさをお話しします。子どもからそのことを聞いて、ここに來られるお母さんもうらっしゃいます。

檀家さんには仏教と結びつけてこの灯のことをお話します。「恨みは恨みで返しても恨みはなくならない」、「兵戈無用(ひょうごむよう)」、兵隊かむよう)と、兵隊や武器のない国は豊かになるし、民は安らかに暮らす。そんな話をするのです。

●原爆の火が77年も灯され続けるっていいのは、すごいことですね

上杉：福岡県星野村出身の兵士だった山本達雄さんは、広島原爆投下で爆死した叔父さん宅、本屋さんだったそうですが、地下の本に火がついて残っていたのを見つけて持ち帰られ、「恨みの火だ、今度はこの火でアメリカをやっつけてやる」

と考える時もあったそうです。それをあさんが仏壇に灯したり、七輪の火にしたり、囲炉裏の火にしたり、ずーっと残しておられていたのを星野村が預かったということですね。

お釈迦様は、「恨みを恨みで返しても恨みはなくならない」と。仕返ししても必ずまた仕返しがあるのです。仕返しはいけません。ずっと耐えて平和を求めていかないと、仕返しで平和を求めるとはできないんです。「いつかやっつこう」、「そういうのは平和のこころにはならないですね。」人間はこれだけ生かされているながら、生かされているものを壊していく。大宇宙に生かされているから大宇宙を壊していつては、人間の知恵の浅はかさは人間だけです。

いま広がっているのが広島・長崎の原爆の日と終戦の日と平和への祈りを込めて鐘を鳴らす「平和の鐘」の取り組みです。鳥取の福田功さんという方が熱心に取り組んでおられます。うちも協力しています。

平和の灯「こころ」を平和集いのシンボルに、またキャンプファイヤーやキャンドルファイヤーなどの火種に使っていただき、人のこころに平和の火を灯し、いのちの大切さを伝えていきたいと思っています。

平和の灯「こころ」を平和集いのシンボルに、またキャンプファイヤーやキャンドルファイヤーなどの火種に使っていただき、人のこころに平和の火を灯し、いのちの大切さを伝えていきたいと思っています。

